

様式 4

平成 27 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 28 年 3 月 19 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・准教授

申 請 者 名 中川祐治

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・ <u>学会等</u>) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	日本語学習支援ネットワーク会議 2015 in FUKUSHIMA
事業実施期間	平成 27 年 4 月 ～ 平成 28 年 3 月
成果の概要	<p>添付資料の通り、2015 年 10 月 3 日に「日本語学習支援ネットワーク会議 2015 in FUKUSHIMA」を実施した。また、2016 年 3 月に最終的な報告書を作成し公開した。なお、当日の参加者は 90 名で、福島県をはじめ、岩手県、山形県、宮城県、東京都、静岡県からの参加があった。</p> <p>この会議は、2006 年に岩手大学国際交流センター地域日本語教育支援事業として開催された「日本語学習支援ネットワーク会議 06 in IWATE」を契機として、東北各県持ち回りで開催されているものである。福島県では 2009 年に開催されて以来、2 回目となる。そもそも 2006 年に「日本語学習支援ネットワーク会議」が開催された背景には、外国出身者、ニューカマーが増加し、地域のグローバル化が進展したことで、地域の日本語学習支援活動が活発になり、さらに県内各地域、東北各県を結ぶ広域の支援ネットワークの必要性が高まったことがある。福島県、東北地方の特徴として、人口に占める在留外国人の割合は全国平均と比べて低いものの、中国、フィリピン、タイ等のアジア出身者が多いこと、中でも「日本人との配偶者等」の割合が多いことが挙げられる。また、近年は、国籍によらず。外国にルーツを持つ（外国につながる）子どもの増加もみられる。かれらに対する日本語学習支援活動について、その取り組みを整理、共有し、支援者、行政関係者、研究者間の人および情報のネットワーク構築を図ることができた。</p>

日本語学習支援ネットワーク会議 2015 in FUKUSHIMA

— 誰のための日本語支援か？ —

東北の小さな町でもグローバル化が急速に進み、様々なかたちで外国出身者が日本で生活するために必要な日本語学習の環境づくりのための活動が行われています。この会議を機に、各地で実践されてきたこれまでの活動やお互いの経験を共有し、東北地区でより強いネットワークを築いていきましょう。

日時：平成27年10月3日（土） 10時15分～16時

会場：福島大学人間発達文化学類棟大会議室（福島市金谷川1番地）

参加費無料

対象：日本語ボランティア、教育関係者、その他関心のある方（100名程度）

10：15～10：30 報告

「福島県の在留外国人の状況」

10：30～12：00 基調講演

平成27年度地域づくり団体活動支援事業

「多文化パワーと地域創生～未来をデザインする日本語支援～」

講師：堀永乃さん（グローバル人財サポート浜松代表理事）

13：15～15：15 分科会

分科会A 「学習者のための 日本語教室とは？」

<司会>

井本亮（福島大学）

<発題>

学習者に実施したアンケートにもとづく報告

<内容>

ボランティア日本語教室に通う学習者のニーズとボランティアが提供できることはうまくマッチしているのか？ 教室に通うことを辞めた学習者はどんな理由で辞めたのか？ アンケート調査から見えてくることをもとに、これからの教室活動の参考になるような話し合いを参加者でしていきます。

分科会B 「社会参加につなげる 支援のあり方」

<司会>

半沢康（福島大学）

<発題>

渡部裕子さん
（日本国際協働センター研修事業部）
松崎聡さん
（FSG カレッジリーグ国際部）

<アドバイザー>

堀永乃さん
（グローバル人財サポート浜松）

<内容>

多様な人々が活躍できる多文化共生社会が進められている中、地域の日本語教室には、サバイバルの日本語指導はもとより地域で活躍する人材の育成も求められてきています。この分科会では、企業と外国人の間に立つ立場から、企業側が求める就労に必要な日本語能力等の要件について整理すると同時に、そのために日本語教室が果たすべき役割についても探ります。

分科会C 「外国にルーツを持つ 子どもとその家族」

<司会>

中川祐治（福島大学）

<発題>

那知上恵一さん
（会津若松市立松長小学校）
長藤節子さん
（山形子どもサポートネット）

<内容>

外国にルーツを持つ子どもたちが将来への希望をもち、自らの力を発揮するためには、彼らを取り巻く人たちが連携をとることが大切になります。この分科会では、子どもたちやその家族への支援の現状について話し合い、保護者、学校、行政及びボランティアがどのような連携をとることができるのかを考えます。

15：30～16：00 全体会

各分科会からの報告・総括

参加申し込み方法【申し込み締切 9月18日(金)】

申込書に必要事項を記入し、下記あてに E-mail (または FAX) にてお申し込みください。

※定員がございますので、お早めにお申し込みください。分科会の決定は当日お知らせします。会場の都合により、ご希望に添えない場合もありますことを予めご了承ください。

申込・問い合わせ先 福島大学人間発達文化学類 中川祐治
 〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学人間発達文化学類
 E-mail : nakagawa@educ.fukushima-u.ac.jp FAX : 024 (548) 8145



日本語学習支援ネットワーク会議 2015 in FUKUSHIMA 参加申込書

お名前 (ふりがな)	
所属団体名	
連絡先	〒 TEL : FAX : E-mail :
参加分科会	第1希望の分科会には「1」、第2希望には「2」と () 内にご記入ください。 () 分科会A「学習者のための日本語教室とは？」 () 分科会B「社会参加につなげるための支援のあり方」 () 分科会C「外国にルーツを持つ子どもとその家族」

※ご記入いただいた個人情報は、当事業に関する連絡等以外では使用いたしません。

福島大学までの交通アクセス

- 車での場合…東北自動車道「福島西IC」から国道4号経由で30分
 または、「福島松川PA・スマートIC」から旧国道4号経由で10分
- 鉄道での場合…JR東北本線「金谷川駅」下車 徒歩10分

福島大学 TEL 024 (548) 5151 ※カーナビ用にご利用下さい
 福島大学 URL <http://www.fukushima-u.ac.jp>



- 主催：** 福島大学、(公財)福島県国際交流協会
後援： (未定)
協力： 会津喜多方国際交流協会、会津若松市国際交流協会、小野町国際交流協会、国際交流の会・かるみあ、つばさ～日中ハーフ支援会～、(学)新潟総合学院 FSG カレッジリーグ、二本松国際交流ボランティアざくざくネット、福島移住女性支援ネットワーク、福島国際交流の会、ふくしま子どもの日本語ネットワーク、蓬萊日本語教室、本宮中国人連心会、もとみや日本語教室 (五十音順)